

3 地域共生への取組み

地域共生の考え方

地層処分事業を長期にわたって進めるためには、地域と処分事業が共に発展することが必要です。NUMOは、地域の一員として、地域のみなさまと共に考え、共に行動していきます。

処分事業の特質と地域共生

地層処分事業は極めて長期にわたる事業です。NUMOは、処分事業の実施が、その受入れを決めていただいた地域の発展につながるものでなければならず、かつその発展はその地域が真に望む姿でなければならないと考えています。このような地域の発展があってはじめて100年以上にわたって地域と共に歩んでいくことができ、こうした関係をつくりあげていくことが地域と処分事業との共生であると考えています。

NUMOは、地域の長期的なビジョン(展望)やニーズ(地域社会が真に必要なとしているもの)などを尊重し、地域の一員として共に考え、共に汗を流して、地域が真に望む地域づくりに努力します。



地域共生への取組み方策

NUMOが取り組む地域共生方策には、次の4つがあります。

- 地域と共に長期ビジョンをつくり、その実現に向けて努力します
- 地域の持続的発展につながっていく事業を行います
- 地域のみなさまとの相互理解を進めていく活動を行います
- 社会の変化に合わせて共生方策もしっかり対応していきます

地域共生の実現に向けて

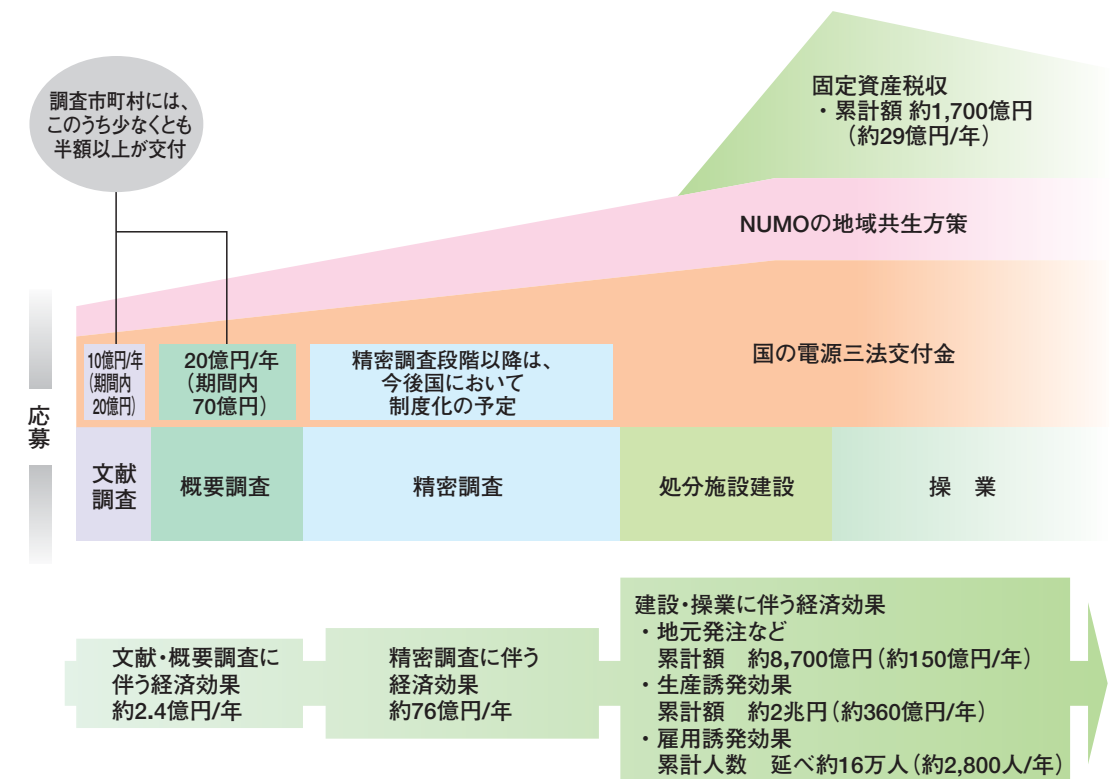
NUMOは、国、電力会社などの関係者とも連携しながら、地域の意向を尊重し、当該地域における地域共生に向けた方策の実施をより確実にするため、費用の確保や諸条件の整備に向け最大限努力します。

そして、地層処分施設の建設・操業に伴い想定される経済効果に加え、国の電源三法交付金制度、およびNUMOの地域共生方策を活用して、地域のみなさまとともに、地域づくりに取り組んでいきます。

処分事業の流れと地域共生

処分事業は、文献調査や概要調査、精密調査、そして地層処分施設の建設・操業など、段階を経て長期にわたって行われるものであり、地域では、段階に応じて社会・経済的な変化が予想されます。NUMOは、こうした段階的变化に合わせて、かつ長期にわたる処分事業にふさわしい地域共生方策が大切であると考えています。

(注) 高レベル放射性廃棄物と地層処分低レベル放射性廃棄物の処分施設を併置した場合



調査、建設・操業に伴う経済効果は、調査市町村を含む都道府県に対する試算値